



作：Kanna







鹿児島県錦江町に、元気いっぱい働き者の少年がいました。彼は「錦江町未来計画のかけら」という伝説の宝物を探すことにしました。ある日、少年はジャングルで、自分と同じくかけらを探している、とても勇敢な少女と出会いました。最初はライバルだった二人ですが、心が通じ合い、力を合わせて冒険する大切な仲間になりました。



二人は地図を見ながら、ジャングルの奥へ進んでいきました。伝説の秘密に夢中になるあまり、いつの間にか道に迷ってしまいました。あたりが暗くなり、少し不安になったとき、遠くから「ゴーッ」と水の音が聞こえてきました。勇敢な少女が「神川大滝の音だ！」と気づき、二人は滝の音をたよりに歩き始めました。険しい道を進んでいくと、大きな滝が現れました。滝の前には、川の上にかかる大きな吊り橋がありました。





二人は吊り橋を渡り始めました。どんなに強く蹴っても橋はびくともせず、とても頑丈に作られています。橋の真ん中まで来ると、川の中にキラキラと光るものが見えました。二人で手分けして、タオルに包まれた石のようなものを引き上げました。それは、探していた「未来計画のかけら」でした！ そのかけらには、次の場所を示す地図が描かれています。二人が喜んで、さあ帰ろうとしたその時、上から何かが落ちてきました。



落ちてきたのは、光り輝くどんぐりでした。それはまるで、二人を次の場所へと誘っているようです。かけらに描かれた地図を見ると、そこには「クヌギの森」と書かれていました。二人は顔を見合わせ、また次の冒険が始まることにワクワクしました。こうして、元気な主人公と勇敢なライバルの新しい旅が、また一歩進んだのでした。





光るどんぐりに導かれ、二人はクヌギの森にたどり着きました。森の真ん中にある大きなクヌギの木の根元に、古くて小さな祠を見つけました。「かけらはここにあるはず！」わくわくして中をのぞきましたが、何もありません。がっかりしていると、ライバルが木のこぶの奥にある、キラキラ光るものを見つけました。協力して取り出すと、それは星を閉じ込めたような、大きなどんぐりでした。これが、錦江町の未来を創る、最後の「かけら」だったのです。



その大きなどんぐりを手に取ると、二人の心には、錦江町の明るい未来の景色がはっきりと見えました。光るどんぐりは、すべての「未来計画のかけら」を一つにまとめる力を秘めていたのです。二人は急いで町に戻り、集めたすべてのかけらを、町の人々の目の前で一つの大きな光の玉に変えました。その光は、町の畑をさらに豊かにし、川の水をきれいにし、人々を笑顔にしました。元気な主人公と勇敢なライバルの冒険は、錦江町の明るい未来として、いつまでも語り継がれていくのでした。